

6. 地域の安全を守る

あんぜん 人々が安全に生活できるようにするため、しょうぼう 消防やこうばん 交番などではどんな仕事しごとをしているのでしょうか

(1) 火事をふせぐ

わたしたちは、まず学校のしょうぼうしせつ 消防施設を調べて、それから町のしょうぼうしせつ 消防施設やしょうぼう 消防のしく 仕組みがどのようなになっているかを調べることにしました。

① 学校のしょうぼうしせつ 消防施設

学校では、みんなの命を守るためにひなんくんれん 避難訓練をしています。しかし、わたしたちは それだけではなく、学校にはぼうか 防火や消火のために いろいろな設備せつびがあるのではないかと考え、調べることにしました。

しょうかき
・ 消火器

ぼうか
・ 防火シャッター

じどうかさいほうちき
・ 自動火災報知機

かんちき
・ 感知器

おくないしょうかせん
・ 屋内消火栓

ひじょう
・ 非常口のしるし

6. 地域の安全を守る

●^{しょうか き}消火器

火を消すための特別な粉^{こな}が入っています。レバーを引くといきおいよく粉^{こな}が出て、火を消します。



●^{おくないしょうかせん}屋内消火栓

中にホースとじゃ口があります。取り出しやすいように きちんとおりたたんであります。



●^{かさいほうちき}自動火災報知機

^{こうしゃ}校舎のどこで火事^おが起こったか、知らせる機械^{きかい}です。



6. 地域の安全を守る

●^{かんちき}感知器

火事が起きたことが、
けむりや熱でわかる設備
です。



^{ねつかんちき}
【熱感知器】



^{かんちき}
【けむり感知器】

●^{ぼうか}防火とびら、シャッター

火事になったとき、この
大きなとびらやシャッター
をしめて、火がもえ広がる
のをふせぐ役目をします。



●^{ひじょうぐち}非常口をしめすしるし

火事になったときのにげ道
を表しています。暗くても
わかるようになっています。



6. 地域の安全を守る

このように、学校にはたくさんの^{ぼうかせつび}防火設備があることがわかりました。また、もし学校が火事になったときにあわてずに^{こうどう}行動するため、^{ひなんくんれん}避難訓練も行っています。火事は、おそろしいものです。^{ひなんくんれん}避難訓練のときは、ふざけないで行うことが大切です。



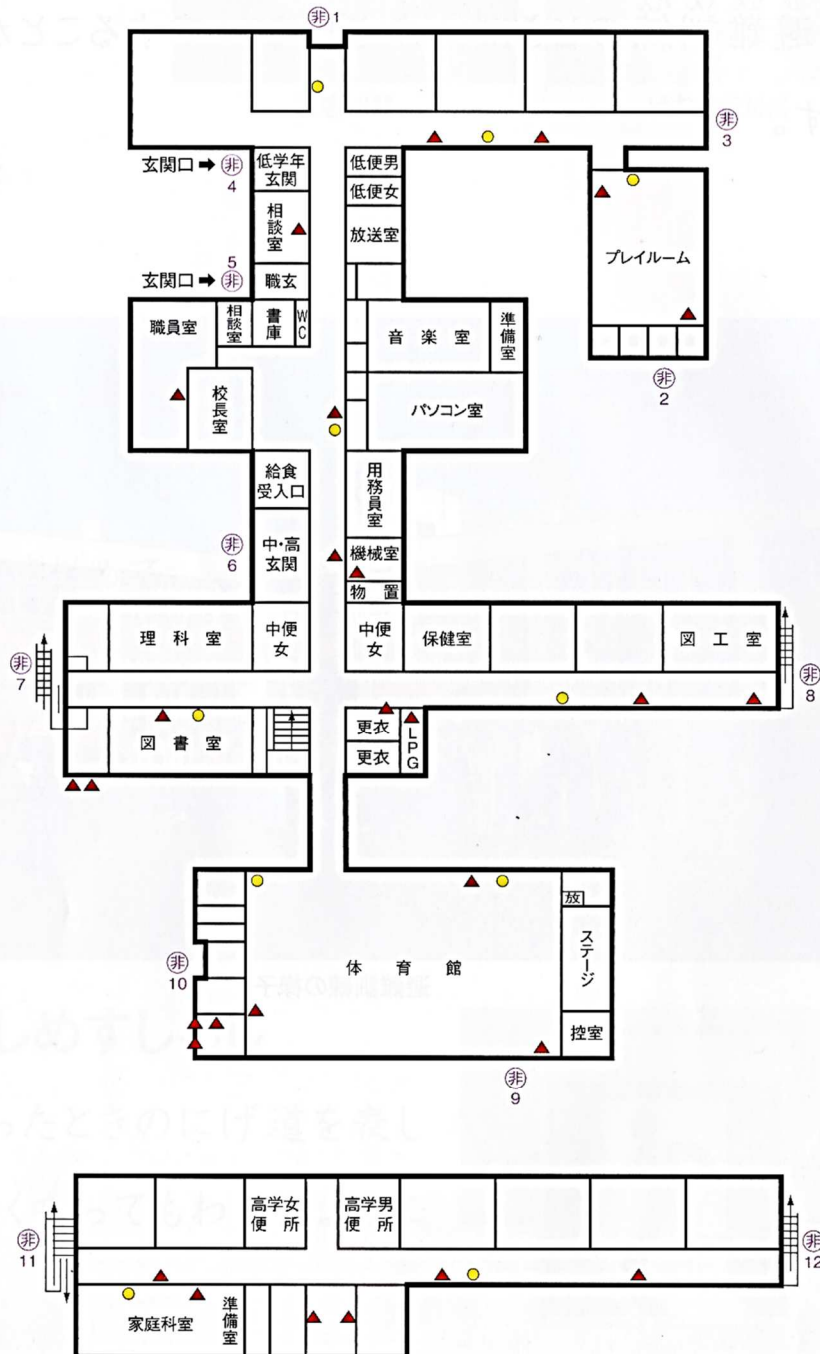
6. 地域の安全を守る

奈井江小学校の避難口と避難経路

(奈井江小学校)

避難口及び避難経路

黄色の●……………消火栓
赤色の▲……………消火器



6. 地域の安全を守る

② 地域の消防施設

● 消防支署

砂川地区広域消防組合 奈井江・浦臼支署^{うらうすししよ}といって、お
そろしい^{すながわ}火事から人々を守るため、砂川市と奈井江町、浦
臼町^{うす}、上砂川町^{かみすながわ}で消防組合^{しょうぼうくみあい}を作りました。

組合^{くみあい}では、消防自動車^{しょうぼうじどうしゃ}を
こう入^{ごうどうえんしゅう}したり、合同演習^{しょうぼうかつどう}の
を行うなどして、消防活動
ができるようにしています。



しょうぼうじどうしゃ
【消防自動車】



きゅうきゅうしゃ
【救急車のなか】

● 消防団

消防団員^{しょうぼうだんいん}の人たちは、ふだんは自分の仕事^{しごと}をしています
が、火事になったときは自分の仕事^{しごと}を休んで町の人たちの
ために働^{はたら}きます。

6. 地域の安全を守る

● 火事をふせぐために

しょうぼうしょ はたら しょうぼう
消防署で働く人たちは、火事をふせぐための仕事もして
います。

かくかてい
各家庭をまわって、えんとつやストーブの取り付け方は
だいじょうぶ
大丈夫か、こども園や学校、役場など、大きな建物の中にあ
る じどう かせい ほうち ひじょうぐち うご てんけん わる
る自動火災報知機や非常口が正しく動くかなどを点検し、悪
いところがあれば なお しょう しょう
直すように指導しています。また、町内に
ある しょうかせん しら
消火栓が使えるようになっているか調べてまわります。

かせい よぼう うんどう きかん
春と秋の火災予防運動期間には、町民に火事に気をつける
よう ちゅうい よ
注意を呼びかけています。

● 119 番のしくみ

しょうぼうししょう しょうぼう
119 番に火事の知らせがあると消防支署から消防
じどうしゃ すなお げんば しょうか
自動車が、直ちに現場にかけつけて消火にあたります。

火のいきおいが強くて、火事が大きく広がりそうになっ
たときには、消防本部からの指令で砂川市などからも
おうえん
応援にきてくれます。

ほか きょうりよく しょうか
このように奈井江町では、他の町と協力して消火
かつどう
活動をしています。

6. 地域の安全を守る

(2) 交通事故をふせぐ

わたしたちの住んでいる奈井江町には、国道12号線や道道江別・奈井江線などの道路が通っていて、たくさんの車が走っています。わたしたちは、交通安全のためにだれがどのような仕事をしているのか調べてみることにしました。

①交番をたずねて

奈井江町には、滝川警察署奈井江交番があり、4人のおまわりさんが務めています。わたしたちは、「交通事故が起これば、どんな仕事をするのですか」とおまわりさんにたずねました。

「110番の知らせを受けるとすぐに現場に行きます。事故が大きいときは応援をたのんだり、レッカー車に連らくします。道路がふさがると他の車が通れなくなるので、交通整理もします。奈井江町の道路は、車がたくさん通りますから、みなさんも車に十分注意してください」と教えてくれました。

6. 地域の安全を守る

① 奈井江町の交通事故

国道12号線は、北海道の道路の中でも、交通量のとく多いところでは、

交通事故がふえることが心配されますが、事故のおもな原因は、信号無視や、きちんと前を見ないで車を運転すること、歩行者の横断違反などです。

② 交通事故のない町に

奈井江町には、町民の交通事故を減らすために交通安全協会や交通安全指導員会があり、街頭で交通安全の指導をしたり、町内の道路をまわって、危ない所はないか、新しく道路標識が必要な所はないかを調べています。

国や北海道、奈井江町では、人々を交通事故から守るため、信号機や注意の看板を設置したり、冬に除雪車を出して道路を広くするなど、たくさんの仕事をしています。

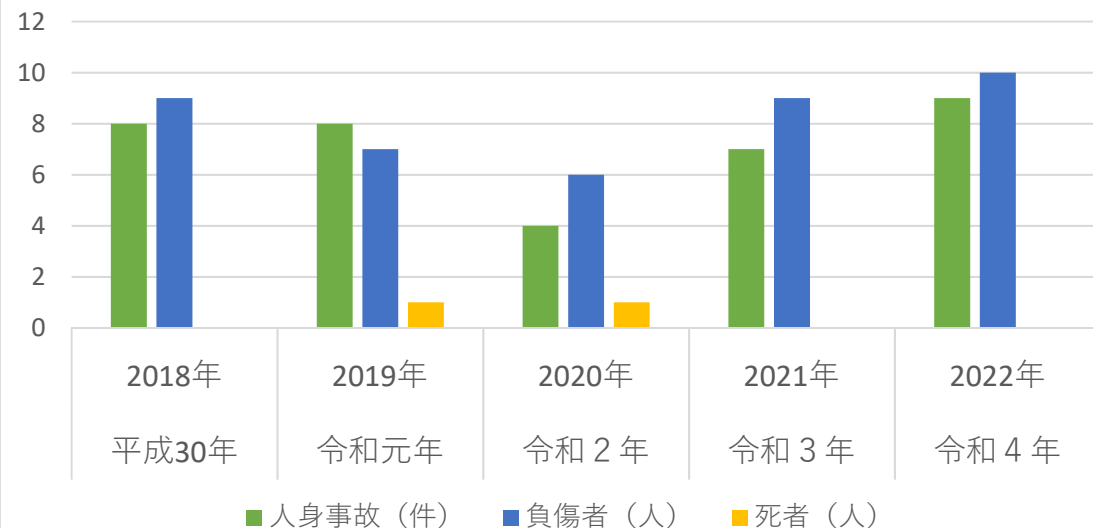
車を運転する人や歩く人が、交通安全のきまりを守って事故のない町にするため、みんなで気をつけていかなければなりません。

6. 地域の安全を守る

令和6年度 こうつうあんぜん交通安全運動

運 動 名	実 施 期 間
こうつうあんぜん 春の交通安全運動	4月6日～4月15日
こうつうあんぜん 夏の交通安全運動	7月13日～7月22日
こうつうあんぜん 秋の交通安全運動	9月21日～9月30日
輸送繁忙期 交通安全運動	10月15日～10月21日
こうつうあんぜん 冬の交通安全運動	11月13日～11月22日
こうつうあんぜん がいとうけいはつ 交通安全の街頭啓発	毎月1日、15日

奈井江町の交通事故（2018年～22年）



6. 地域の安全を守る

● 110 番のしくみ

事件^{じけん}や交通事故^{こうつうじこ}などを知らせる 110 番の電話は、
すべて札幌市^{さっぽろ}にある北海道警察本部^{ほっかいどうけいさつほんぶ}の通信指令室^{つうしんしれいしつ}に
つながります。

無線連^{むせんれん}らく^うを受けたパトカーは、事件^{じけん}や事故^{じこ}の
場所^{ばしょ}に早くかけつけるために赤いランプ^{てんとう}を点灯し、
サイレン^なを鳴らしながら走り^{はし}ます。けがをした人が
いれば、消防署^{しょうぼうしょ}へ連^{れん}らくが行き、救急車^{きゅうきゅうしゃ}が急いで
かけつけます。

警察官^{けいさつかん}は、夜でも雨や雪の中^{はんにん}でも、犯人^{はんにん}をつかまえ
たり、事故^{じこ}の現場^{げんば}ではすぐに交通整理^{こうつうせいり}をして事故^{じこ}が
続^{つづ}いて起きない^おようにします。さらに、事故^{じこ}の原因^{げんいん}を
くわしく調^{しら}べて、同じ^{じこ}ような事故^おが起こるのを防^{ふせ}ぐ
ようにしています。